

社協通信

第5号

◆発行日◆
平成28年7月1日

◆発行者◆
松前町社会福祉協議会

◆住所◆
松前町字福山236-4
地域福祉交流センターゆいっこ
☎ 42-2270



認知症サポーター 養成講座の紹介

本年の2月、3月に認知症サポーター養成講座を開催し、2回の開催で30名ほどの参加者がありました。

北斗市よりお招きした坂本講師より、認知症について正しく理解し、偏見を持たず認知症の人やその家族を温かく見守る応援者になってほしい。認知症は早期発見と治療が大切、周囲の見守りや声掛けなど地域の支えも大切であることを話していただきました。

また、認知症予防のための気軽に行える体操の紹介もあり、養成講座は終始和やかな雰囲気でした。

養成講座終了時には、認知症サポーターのしるしである「オレンジリング」が手渡されました。

町内における認知症者の事故を未然に防ぐためにも、認知症者を応援するサポーターになってほしいと願っています。

■平成28年度

松前町社会福祉協議会事業計画概要

平成28年3月25日に開催しました評議員会の審議を得て、平成28年度事業計画及び予算が承認されましたので、お知らせいたします。

役員改選及び評議員改選がそれぞれ行われ、下記の体制により事業推進にあたりますので、町民皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

基本方針

松前町においても少子高齢化や家族の孤立化の進行、生活様式の変化等により、以前と比べ地域の人間関係が希薄化し、相互扶助機能が低下や高齢者や障がい者など社会的に弱い立場にある方はますます厳しい状況におかれています。

また、青少年や勤労者層においても生活不安やストレスの増大により、ひきこもりや自殺といった深刻な問題が生ずるなど、地域住民の抱える課題は多種多様化してきています。

こうした地域社会で生ずる課題を解決し、誰もがその人らしく安心して生活できるようにするためには、公的なサービスの充実のみならず、地域住民や各種団体、事業者等が相互に助け合い、協働による地域づくりを推進していかなければなりません。

今日、高齢化率が44%を超え、潜在する福祉課題の解決に向けて松前町社会福祉協議会では訪問介護事業や居宅介護支援事業、障がい者地域活動支援センター事業などを通じて支援に関わりつつ、さらには安心して暮らせる地域づくりのため町行政の支援のもと町内会をはじめとした各種団体とも連携して各種活動に取り組めます。

さらに、改正介護保険制度による要支援認定者等に対応する総合支援事業への取り組みが準備される中、地域福祉推進を使命とする私ども社会福祉協議会の活動が期待されている一方、運営のための自主財源の確保に留意しつつ、出来るかぎり持続可能な体制づくりをめざすこととします。

地域で取り組む『たすけあい・支えあい』の活動や意識を育み、住民による活動支援を積極的に応援し、すべての町民から支持、期待される社協をめざし、松前町との連携のもと次の事業に取り組むこととします。

福祉啓発活動事業

*「社協通信」及び啓発チラシ等発行

地域組織育成事業

*地域福祉活動推進の取り組み

*ボランティア育成・研修会参加

*ボランティア活動保険助成

*児童・生徒のボランティア活動指定校活動助成

*行事用テント・車いすの無料貸出

福祉団体育成事業

*松前町老人クラブ連合会

*松前町心身障害者福祉協会

*松前町共同募金委員会

*ふれあい運動会の開催

・障害者福祉協会の会員増を図るための取り組みを進めるとともに、障がい者らの交流活動の一環として、心身障害者福祉協会会員を中心にふれあい運動会を開催する。

共同募金運動推進

*松前町共同募金委員会助成金交付

*赤い羽根共同募金運動及び歳末助け合い運動の啓発推進

老人福祉事業

*ひとりの不幸も見のがさない活動助成

*単身老人クリスマス慰問事業

*町内会を主として、地域の高齢者を対象とした活動に対して活動費の助成を行うとともに、単身老人把握のための調査及びクリスマス慰問事業を実施する。

研修事業

*渡島管内社協役員研修会参加

生活福祉資金啓発

*生活福祉資金貸付事務等取り扱い

*生活福祉資金取扱実費弁償費交付
・心配ごと相談事業
・常勤職員による相談対応を行う。相談内容によっては各種関係機関へ橋渡しを行う。

・開設日 毎月第3水曜日

松前町社会福祉協議会役員

会長	長瀬 弘	雄協
副会長	藤野 順	協卓
副会長	加藤 野	篤子
理事	油田 野	子二
理事	野松 菊	子清
理事	松古 海	フジノ
理事	尾海	
監事		

松前町社会福祉協議会評議員

吉村 幸一	伊藤 昌子
千葉 友子	佐藤 伸子
中村 ヒデ	桂 秀子
久保 郁子	鳴海セツ子
宮島 里美	金谷 健章
伊達 猛	川村 房子
濱村 明美	木村 初枝
宮本理恵子	堀川 純子
新岡 良子	船尾 揚子
木村ウメ子	斉藤多喜雄

法外援護事業

- ・ 応急生活資金貸付事業
- ・ 資金貸付制度を継続できるように、資金償還に重点を置く。

介護保険事業

- ・ 訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業の実施

障害福祉サービス等事業

- ・ 障害者向けホームヘルプの実施
- ・ 利用者への居宅サービスに努める。
- ・ 総合支援事業への対応を図る。
- ・ 常勤職による自宅介護者向けの介護講習会を開催

福祉有償連送事業

- ・ 障害者向けホームヘルプの実施
- ・ 利用者への居宅サービスに努める。

松前町障害者地域活動支援センターの業務受託

- ・ 要介護認定者等の通院及び買い物などや移動支援事業決定者にサービス提供する。
- ・ 基礎的活動（創作活動、生産活動、地域活動）の取り組み。
- ・ 障がい者らの居場所づくりや基礎的活動を通じて、社会性を身につけるための取り組みを継続し、地域における自立支援を図る。

平成28年度 松前町社会福祉協議会予算書

(単位：円)

科目名	本年度予算額
【事業活動による収支】	
会費収入	1,000,000
寄付金収入	1,200,000
経常経費補助金収入	6,909,000
受託金収入	4,900,000
貸付事業収入	1,813,000
事業収入	110,000
介護保険事業収入	39,484,000
障害福祉サービス等事業収入	1,337,000
受取利息配当金収入	1,000
その他の収入	207,000
事業活動収入計 (1)	56,961,000
人件費支出	46,738,000
事業費支出	7,496,000
事務費支出	2,056,000
貸付事業支出	1,837,000
共同募金配分金事業費	1,253,000
助成金支出	70,000
負担金支出	280,000
事業活動支出計 (2)	59,730,000
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 2,769,000
【施設整備等による収支】	
施設整備等収入計 (4)	0
施設整備等支出計 (5)	0
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	0
【その他の活動による収支】	
拠点区分間繰入金収入	1,207,000
サービス区分間繰入金収入	1,483,000
その他の活動収入計 (7)	2,690,000
積立資産支出	
拠点区分間繰入金支出	1,307,000
サービス区分間繰入金支出	1,483,000
その他の活動支出計 (8)	2,790,000
その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	△ 100,000
当期資金収支差額合計 (11)= 3 + 6 + 9 - 10	△ 2,869,000
前期末支払資金残高 (12)	6,670,000
当期末支払資金残高 (11)+(12)	3,801,000

共生型事業

- ・ 地域福祉交流センターを拠点として高齢者、障がい者、地域住民等

との交流の場としての各種行事講座等を開催し、障害者地域活動支援センターと連携し共生型事業を推進する。

日常生活自立支援事業

- ・ 事業実施に伴う体制整備
- ・ 生活支援専門員及び生活支援員の研修参加、相談窓口の開設
- ・ 金融機関への制度紹介を通じて利用促進を図る。

在宅福祉活動車両の管理

- ・ 所有する車両の維持管理を適切に行う。(保有台数 9台)
- ・ ゆいっこまつり開催
- ・ 9月第1日曜日をめぐりに開催。社会福祉協議会の活動状況を広く町民に発信する機会として開催する。

災害救援協定締結に伴う取り組み

- ・ 道社協と協定を締結した中で、停電時に備えて事務所電源の確保に向けた発電機や備品整備等を検討する。

平成27年度 松前町社会福祉協議会事業報告概要

地域組織育成事業

- * ボランティア活動保険加入、保険料一部助成(4団体)
- * 生活福祉資金取扱実弁償費の交付

- (松前町民生委員協議会へ)

- * 児童・生徒のボランティア活動支援助成金交付

福祉団体の育成事業

- * ふれあい運動会の開催
開催日 平成27年10月20日

- * 福祉団体事務局支援
松前町老人クラブ連合会
(会員数 867人)

- 松前町心身障害者福祉協会
(会員数 46人)

- 松前町共同募金委員会

共同募金活動事業

- * 松前町共同募金委員会へ助成金交付
- * 赤い羽根共同募金運動及び歳末たすけあい運動の啓発推進

老人福祉事業

- * ひとりの不幸も見のがさない活動助成(決定順)

- ・ 静浦町内会「敬老会」

- ・ 建石町内会「長寿と楽しむ会」

- ・ 荒谷町内会「介護予防タンポポ教室」

- ・ 唐津町内会「高齢者と全町民交流会」

- ・ 博多町内会「高齢者見守り隊」

- ・ 札前町内会「敬老・お楽しみ会」
- ・ 大沢町内会「大沢を元気な地域に裸の付き合い大作戦」

- ・ 原口町内会「原口町内会敬老会」

- ・ 茂草町内会「茂草町内会敬老会」
- ・ 赤神町内会「高齢者お楽しみ会」

- ・ 大磯町内会「大磯健康クラブ事業」
- ・ 豊福町内会「豊福町内会カメモ教室／お祝い餅配布事業」

- ・ 白神町内会「介護予防しらゆり教室」

- * 単身老人クリスマス慰問事業実施
- ・ 満70歳以上の単身老人を対象に町内小学校、民生委員、町内会、地域婦人会、ライオンズクラブの協力を得てクリスマス慰問事業を実施

- ・ 配布数 528人 慰問品 メッセージカード及びロールケーキ

- ・ 配布数 528人 慰問品 メッセージカード及びロールケーキ

法外保護事業

- * 応急生活資金の貸付件数8件／貸付金額88,000円 償還件数17件／償還金額108,000円

介護保険事業の実施

- * 訪問介護事業
- ・ 要支援認定者及び要介護認定者に対する身体介護サービス及び生活援助サービスを実施するとともに、通院や買い物サービスを提供

- ・ 要支援認定者及び要介護認定者に対する身体介護サービス及び生活援助サービスを実施するとともに、通院や買い物サービスを提供

- ・ 要支援認定者及び要介護認定者に対する身体介護サービス及び生活援助サービスを実施するとともに、通院や買い物サービスを提供

- ・ 要支援認定者及び要介護認定者に対する身体介護サービス及び生活援助サービスを実施するとともに、通院や買い物サービスを提供

- ・ 訪問介護員の国家資格(介護福祉士)の取得支援
- ・ ヘルパーミーティングの開催
- (訪問介護サービス利用者の状況確認及び介護サービス提供時の注意事項等の連絡指示他)
- ・ 有料介護サービス等の実施
- ・ 居宅介護支援事業

- ・ 介護支援専門員による要介護認定者及び要支援認定者のケアプランを作成し、各事業と介護サービスの利用調整や相談対応を実施
- ・ 特別養護老人ホーム松前南殿荘入所者判定会議参加
- ・ 松前ケア会議参加
- ・ 松前町ケアマネ連絡会会議参加

- ・ 障害者への居宅サービスの提供
- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 訪問介護員の国家資格(介護福祉士)の取得支援
- ・ ヘルパーミーティングの開催
- (訪問介護サービス利用者の状況確認及び介護サービス提供時の注意事項等の連絡指示他)
- ・ 有料介護サービス等の実施
- ・ 居宅介護支援事業

- ・ 介護支援専門員による要介護認定者及び要支援認定者のケアプランを作成し、各事業と介護サービスの利用調整や相談対応を実施
- ・ 特別養護老人ホーム松前南殿荘入所者判定会議参加
- ・ 松前ケア会議参加
- ・ 松前町ケアマネ連絡会会議参加

- ・ 障害者への居宅サービスの提供
- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 訪問介護員の国家資格(介護福祉士)の取得支援
- ・ ヘルパーミーティングの開催
- (訪問介護サービス利用者の状況確認及び介護サービス提供時の注意事項等の連絡指示他)
- ・ 有料介護サービス等の実施
- ・ 居宅介護支援事業

- ・ 介護支援専門員による要介護認定者及び要支援認定者のケアプランを作成し、各事業と介護サービスの利用調整や相談対応を実施
- ・ 特別養護老人ホーム松前南殿荘入所者判定会議参加
- ・ 松前ケア会議参加
- ・ 松前町ケアマネ連絡会会議参加

- ・ 障害者への居宅サービスの提供
- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 障害者への居宅サービスの提供

- ・ 障害者への居宅サービスの提供

平成27年度 社会福祉法人松前町社会福祉協議会決算書

平成27年度資金収支計算書 単位：円

平成27年度事業活動計算書 単位：円

勘定科目(大区分)	決算額
【事業活動による収支】	
収入	
【事業活動による収支】	
会費収入	697,304
寄付金収入	1,493,625
経常経費補助金収入	6,783,694
受託金収入	4,364,500
貸付事業収入	108,000
事業収入	116,900
介護保険事業収入	38,083,162
障害福祉サービス等事業収入	1,432,560
受取利息配当金収入	1,645
その他の収入	135,480
事業活動収入計(1)	53,216,870
支出	
人件費支出	44,278,538
事業費支出	6,416,523
事務費支出	1,596,881
貸付事業支出	88,000
共同募金配分金事業費	1,515,634
助成金支出	70,000
負担金支出	300,152
事業活動支出計(2)	54,265,728
事業活動資金収支差額(3) = (1) - (2)	△ 1,048,858
【施設整備等による収支】	
収入	
【施設整備等による収支】	
施設整備等補助金収入	430,000
施設整備等収入計(4)	430,000
支出	
固定資産取得支出	819,892
施設整備等支出計(5)	819,892
施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5)	△ 389,892
収入	
拠点区分間繰入金収入	2,718,481
サービス区分間繰入金収入	1,157,966
その他の活動による収入	577,892
その他の活動収入計(7)	4,454,339
支出	
積立資産支出	252
拠点区分間繰入金支出	2,718,481
サービス区分間繰入金支出	1,157,966
その他の活動による支出	111,320
その他の活動支出計(8)	5,313,926
その他の活動資金収支差額(9) = (7) - (8)	△ 859,587
当期資金収支差額合計(11) = (3) + (6) + (9) - (10)	△ 2,297,337
前期末支払資金残高(12)	9,399,645
当期末支払資金残高(11) + (12)	7,101,308

勘定科目(大区分)	決算額
【サービス活動増減の部】	
収益	
会費収益	697,304
寄付金収益	1,493,625
経常経費補助金収益	6,783,694
受託金収益	4,634,500
貸付事業収益	108,000
事業収益	116,900
介護保険事業収益	38,083,162
障害福祉サービス等事業収益	1,432,560
サービス活動収益(1)	53,079,745
費用	
人件費	45,104,138
事業費	6,416,523
事務費	1,596,881
貸付事業支出	88,000
共同募金配分金事業費	1,515,634
助成金費用	700,000
負担金費用	300,152
減価償却費	2,111,435
サービス活動費用(2)	57,202,763
サービス活動費用計(3) = (1) - (2)	△ 4,123,018
【サービス活動外増減の部】	
収益	
受取利息配当金収益	1,645
その他のサービス活動外収益	135,480
サービス活動外収益計(4)	137,125
費用	
サービス活動外費用計(5)	0
サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)	137,125
経常増減差額(7) = (3) + (6)	△ 3,985,893
【特別増減の部】	
収益	
施設整備等補助金収益	430,000
拠点区分間繰入金収益	2,178,481
サービス区分間繰入金収益	1,157,966
その他の特別収益	1,838,858
特別収益計(8)	6,145,305
費用	
拠点区分間繰入金費用	2,718,481
サービス区分間繰入金費用	1,157,966
その他の特別損失	143,258
特別収益計(9)	4,019,705
特別増減差額(10) = (8) - (9)	2,125,600
当期活動増減差額(11) = (7) + (10)	△ 1,860,293
【繰越活動増減差額の部】	
前期末繰越活動増減差額(12)	15,232,990
当期末繰越活動増減差額(13) = (11) + (12)	13,372,697
その他の積立金積立額(16)	559
次期繰越活動増減差額(17) = 13 + 14 + 15 - 16	13,372,138

貸借対照表 単位：円

勘定科目	当年度末	勘定科目	当年度末
【資産の部】		【負債の部】	
流動資産	9,172,605	流動負債	2,071,297
現金預金	2,509,171	事業未払金	1,558,441
事業未収金	6,660,432	その他の未払金	37,932
未収金	3,002	職員預り金	474,924
固定資産	43,540,697	固定負債	6,725,160
基本財産	29,826,901	退職給付引当金	6,725,160
その他の固定資産	13,713,796	負債の部合計	8,796,457
		【純資産の部】	
		基本金	1,000,000
		基本金	1,000,000
		国庫補助金等特別積立金	26,318,747
		国庫補助金等特別積立金	26,318,747
		その他の積立金	3,225,960
		貸付事業資金積立金	1,968,000
		その他の積立金	1,257,960
		次期繰越活動増減差額	13,372,138
		次期繰越活動増減差額	13,372,138
		(うち当期活動増減差額)	△ 1,860,293
		純資産の部合計	43,916,845
資産の部合計	52,713,302	負債及び純資産の部合計	52,713,302

日常生活自立支援事業のお知らせ

日常生活支援事業は、あなたの暮らしの“あんしん”をお手伝いする事業です。松前町社会福祉協議会までご相談、ご連絡願います。

事業内容

◆対象者

自分ひとりで契約などの判断をすることが不安な方やお金の管理に困っている方などが利用できます。

◆対象の範囲

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力不十分な方で在宅で生活している方が対象です。

◆支援内容

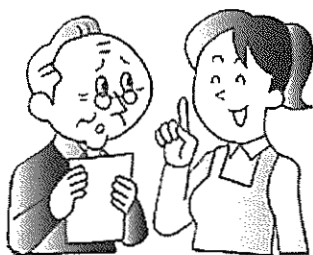
福祉サービス利用の援助、日常的な金銭管理、預金通帳当の預かりサービスなどのお手伝いをします。

○相談・援助

- ・さまざまな福祉サービスについての情報提供、相談支援
- ・福祉サービスの利用申し込み
- ・福祉サービスに関する苦情解決制度の利用援助

○日常的な金銭管理

- ・医療費の支払い
- ・税金や公共料金の支払い



松前町社会福祉協議会
電話 42-2270

利用にあたっては、社会福祉協議会自立支援専門員が訪問し、相談対応しますので、お気軽にご相談願います。

対象者に掲載した内容に合致する場合は、利用に結びつくことができます。

- ・生活費や日用品の代金支払い
- ・家賃や地代の支払い
- ・年金などの受領
- 福祉サービス利用の援助
 - ・福祉サービスの利用料を支払う手続き
 - ・預貯金の出し入れ
- 預貯金通帳等の預かりサービス
 - ・預貯金の通帳(カード含む)
 - ・実印や銀行印
 - ・保険証書、不動産権利書など
 - ・その他適当と認められた書類

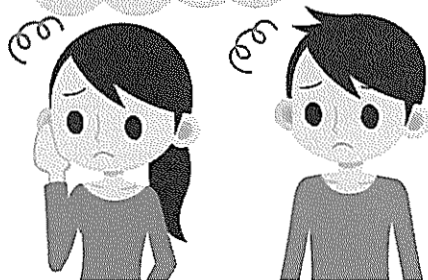
生活困窮者等のセーフティネット

おしまHOT(ほっと)かないセンター

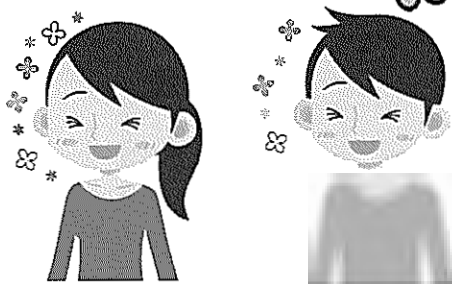
あなたのことを…HOT(ほっと)かない
そうして、私のことを…HOT(ほっと)かないで
そんな、あなたのための、HOT(ほっと)できる場、HOT(暖かい・ぬくもりのある)できる関わりを目指したセンターです。

生活費に困っている 家庭内の問題

どこに相談したらいいかわからない 仕事の問題



一緒に解決



北海道社会福祉協議会 自立相談支援センター
おしまHOT(ほっと)かないセンター

住所：函館市美原4丁目6番16号
電話：0138-34-6966

社会福祉法人松前町社会福祉協議会 「特別会員」募集及び加入のお願い

社会福祉法人松前町社会福祉協議会

会長 長 瀬 弘 雄

所在地 松前町字福山236-4
電話 42-2270
FAX 42-5880
厚生大臣認可
昭和49年1月10日

松前町社会福祉協議会では、平成28年度より、特別会員制度を設け、加入いただく会員よりご協力いただく会員会費をもとに、地域福祉事業活動をより積極的に推進することをめざします。

人口の高齢化、地域の過疎化、ひとり暮らし老人の増加等により、地域の誰もが心配し、不安に感じているのではないのでしょうか。

このような状況が予測されるなかで潜在化している福祉課題が、今後顕在化するものと思われまます。

地域の福祉課題解決、予防のためにも、これまで以上に関係者とともに取り組んでいかなければなりません。

社会福祉協議会は、訪問介護事業、居宅介護支援事業で要介護者らと接し、また、老人クラブ連合会、地域老人クラブや心身障害者福祉協議会と接する機会があることから、少なからずそれぞれの立場の町民の不安を感じ取ることが出来ます。この強みを生かし地域福祉を進めます。

いつまでも住み慣れたこの町で暮らし続けたい。たくさんの方がそのように望んでいると思います。松前町社会福祉協議会は「ともにささえあう福祉のまちづくりをめざして」という目標のもと、さまざまな福祉活動を展開しています。

また、社会福祉法に地域福祉の推進組織として明記されている組織であり、「ともに支えあう福祉のまち」とは、そもそも地域住民ひとりひとりの主体的な参加によりすすめていくものです。

社会福祉協議会特別会員制度は、実施する事業や趣旨に対する理解を深めていただき、社会福祉協議会が行う地域福祉活動に財政的支援をご協力いただき、住民主体のたすけあいのしくみです。会員になることで、権利や義務が発生するわけでもなく、社協活動の趣旨に賛同し会費を納めることで社協活動に参加していただくこととなります。会費は、社会福祉協議会が進める独自の「地域福祉事業」などに活用することとしていきます。

また、少子高齢社会の今日、ますます多様化している住民の福祉ニーズにこたえるため新たな事業活動を展開していく必要があります。住民会費などの自主財源の確保が一層必要となっております。

社会福祉協議会では、会員募集を通じて、身近な地域から一歩ずつ、障がいのある人、子どもから高齢者まで、活動目標のもと「ともにささえあう福祉のまちづくり」を進めたいと考えています。

今年企業への趣意書のご案内及びご訪問を予定していますので、特別会員募集の趣旨をご理解いただき、みなさまの力強いご協力をお願い申し上げます。

特別会員会費 年間 1口 1,000円(複数口可)

松前町社会福祉協議会では、車いすや行事用 TENT を無料で貸し出しています。

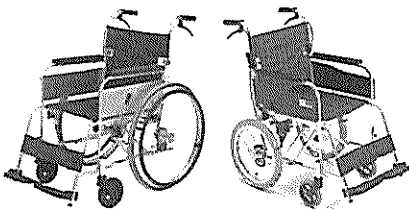
車いすを利用する方がご自身で操舵する自走式、介助者が操作する介助式車いすがあります。

また、行事用 TENT もあります。町内会行事等で使用する機会がありましたら活用できます。

利用希望の方は、松前町社会福祉協議会へご連絡願います。

車いすの貸出期間は最長1か月。利用申し込みの際は、住所、氏名、電話番号を確認しますので、ご了承願います。

車いす所有台数 9台



介助式 タイヤが小さいです
自走式 タイヤが大きいです



寄付者ご紹介

平成27年度寄付金

松前町社会福祉協議会対し、寄付金をお寄せいただき、心よりお礼申し上げます。

寄付金は各種福祉活動の財源に充てさせていただきます。ありがとうございます。（受付順）

字唐津	松尾佳清様
字豊岡	近江谷邦彦様
字江良	斉藤弘子様
蘭越町	三浦捷彦様
字大磯	水島 薫様
字原口	佐々木孝夫様
字大沢	太田文子様
字唐津	羽二生敏子様
字江良	柴田正幸様
字神明	野登谷秀雄様
字館浜	高橋春代様
字荒谷	熊谷千工様
字福山	松前仏教会様
字博多	若山正則様
字唐津	加藤 卓様
字白神	奥村秀夫様
字大磯	工藤美智子様
字館浜	佐藤 修様
字福山	上野勝三様

字大磯	上林浩和様
字札前	濱村明美様
松前歌謡愛好会	会長 鎌田芳男様
字清部	目谷正常様
字江良	セラーズ渡辺 一円募金箱様
字松城	長瀬弘雄様
字荒谷	斉藤 協様
字大磯	田島順子様
字福山	西村トセ様
字大沢	野戸睦子様
字江良	高橋清晴様
字松城	松橋祐二様
字大磯	古海フジノ様
字福山	関屋喜代子様
字朝日	荒木タツミ様
字小浜	西川末男様
松前婦人の会	会長 西村トセ様
函館市	水野英子様
字原口	高橋いくみ様
字茂草	八木澤勝三様
字原口	東寺流御詠歌の会
代表	清水智子様
字福山	澤田宜康様
字愛宕	三浦光雄様
字荒谷	坂本みさを様
他	匿名希望者様

寄付金計 1,493,625円

心配ごと相談所開設を 開設しています！

松前町社会福祉協議会では、毎月第3水曜日に心配ごと相談所を開設しています。

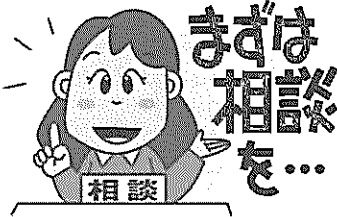
お急ぎの場合は相談日でなくても、相談をお受けしております。

相談内容は、秘密厳守ですから安心いただけるものと思います。

相談内容によっては、相談者の了解のもと、より専門の機関へ橋渡しを行うこともできます。

ふだんから、心配ごとや悩みごと、不安なことがあると落ち着かないものです。

そんなときは、心配ごと相談所へ来てはいかがでしょうか。情報提供や助言を受けることにより、問題や心配ごとの解消につながる一歩になると思います。



心配ごと相談所
電話 42-2270

編集後記

社協通信第5号をお届けいたします。

今号は、平成28年度事業計画、予算、平成27年度事業報告、決算報告が紙面の大半を占めることになりました。

社会福祉協議会の活動状況が皆様に伝わるように心がけましたが、いかがでしょうか。

社会福祉協議会が関わる事業は広範囲にわたっています。

平成28年も半年が経過し、事業計画に基づき、役員一丸となつて事業推進にあたります。

本年度は財源面について、特別会員制度を設け、会費のご協力をお願いすることになりましたので、ご理解ご支援願います。

さて、春のさくらまつりも終わり、にぎやかだった町通りもひと段落でしょうか。

北海道新幹線が開通して、思うことは函館、東京間の日帰りはできるのかなと考えてみた。往復8時間20分。

時間的には可能でしょうか、東京滞在時間はどの位になるのか。もうすでに実行している道民も町民（乗鉄）もいるのかと考えてみました。